

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	一般小売店 [酒] (店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数も減り、飲食店も時間短縮ではあるが営業できるようになって、売上も伸びている。
	◎	コンビニ (副店長)	来客数の動き	・前月より来客数が増加しており、それに伴い売上も増加している。特に夜帯の来客数と売上が共に伸長傾向である。
	◎	家電量販店 (総務担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少により、9月と比べると来客数増加が顕著である。
	○	百貨店 (店舗企画)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除により徐々に人出が多くなっている。食料品を中心に商品動向は回復しているが、宝飾品等の動きは厳しい。
	○	コンビニ (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種効果があって客が戻ってきたので、活気付いている。
	○	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	それ以外	・緊急事態宣言解除後より観光客数が増加しており、周りをみると店舗の入替え、建て替えによる建築業の活性化が感じられるが、飲食店舗は酒の提供自粛と営業時間の短縮で、緊急事態宣言中とほとんど変わらない低い売上に終わっている。
	○	旅行代理店 (マネージャー)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、少しずつではあるが予約等が増えてきている。ただ会社の置かれている現状は厳しい。
	○	住宅販売会社 (役員)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、県外、県内を含め物件の問合せや内覧希望者も着実に増えつつある。
	□	スーパー (販売企画)	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、今のところ買物動向の変化は特にみられず来客数減少、単価上昇が続いている。店舗規模の大きい店舗は好調で小さい店舗は不調の状況も続いている。全体としてはそれが相殺され前年並みとなっている。
	□	観光名所 (職員)	来客数の動き	・予約が若干伸びてきている。
	□	住宅販売会社 (代表取締役)	販売量の動き	・住宅建築に関する相談件数が、増えもせず減りもせずといった状況にある。
	▲	スーパー (企画担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除となり、週末を中心に郊外の総合スーパーに客が流れ苦戦する。また、巣籠り需要も減り、買上点数も伸び悩む。
	▲	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて、宿泊は個人客の動きは良くなってきているが、まだ2019年の3割程度である。修学旅行は12月まで全てキャンセルとなり厳しい。飲食に関しては、昼の利用は増えてきたが、夜の宴会は0の状態である。本年中は厳しい状態が続く。
	▲	通信会社 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、客足は鈍いままである。月後半からは新しい料金プランも開始しているが、落ち着いた状況が続いている。コロナ禍の状況下でWebでの手続に客が慣れてしまっているとも考えられる。
	×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・現在新型コロナウイルスの影響による営業時間の短縮等も飲食店全体に響いており、大変苦慮している。ここ2～3日で解除されるので、それで少し良くなるとみている。
×	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの7月の販売室数が前年比58%減少なのに対し、10月の販売室数は前年比72%減少とマイナス幅が大きくなっている。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除になり、これまで低調だった観光関連及びホテル向け需要が伸びてきている。
	◎	輸送業 (経営企画室)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除後、観光業、空港への納品が再開し、徐々に物量も増え始めている。また、外食関係、メーカーや問屋への納品も増加傾向にあるが新型コロナウイルス発生前の物量には戻っていない。宮古島、石垣島といった離島向けの物量は緊急事態宣言解除前と変わらず、離島へ訪れる観光客数は戻っていないと推測される。
	○	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・以前から打合せを進めていた客が、やっと契約になる。

	<input type="checkbox"/>	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は大幅に減少しているが、企業の設備投資が回復するには時間を要すとみられ、見積り、受注は現状で大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（所長）	それ以外	・コロナ禍は落ち着いているが、景況に好材料となる要素も見当たらない。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・10月初旬頃から緊急事態宣言解除後の経済活動の活発化に向けて採用活動を再開した企業が多く、月間を通して求人数が増加している。3か月前と比較し、求人数は40%増加している。
	○	人材派遣会社（総務担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されて人の動きが良くなり、景気も改善していくのではないかと見られる。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・新卒求人を予定しているとの相談が増えている。政府の支援なども見越して、今後の企業活動が更に活発なものとなりそうである。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前月と比較して、状況に特別変化はないとみられる。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—